

ほっかいどうの社会保障

2012年1月6日 北海道社会保障推進協議会 Tel:011-758-2648 FAX:758-4666

学習を力に、社会保障を推進させる年に！

15日介護学習会、17日大門議員迎え学習会、20、20日地域社保協交流集会



2012年新春学習会

「社会保障と税一体改革に私たちはどう立ち向かうか」

日時 2012年1月17日(火) 18:30～20:30

場所 かでる2・7 520研修室(中央区北2西7)

講師 大門実紀史・日本共産党参議院議員 資料代 500円

野田内閣は、6日、社会保障・税一体改革素案を決定し、今年度内にも消費税増税法案(社会保障目的税化し、2014年4月～8%、2015年10月～10%、将来さらに値上げ)を提出する構えです。この間の国民世論や運動などで、当初の改悪内容を一部見直す内容になっていますが、「一体改革」の本質(「支え合い社会」の下、社会保障に対する国の責任を放棄、負担と給付のバランスによる国民負担増と給付削減、法人税の大幅減税など)は変わっていません。政府は、今月23日にも始まる通常国会で、「一体改革」を具体化させる予算や関連法を準備し、国会での必要がない診療報酬や介護報酬の改悪も準備しています。さらに、今年は、毎年の年金保険料値上げとともに、後期高齢者医療保険料や協会けんぽ保険料、介護保険料、国保料などの負担増もされようとしています。地域主権一括法によって、ナショナルミニマムが崩され、施設基準や人員基準など地方に委ねられる年でもあり、地域での取り組みも一層増します。

解散・総選挙も予想されます。学習を力に、多くの方と力を合わせ、社会保障を推進させる年にしましょう。

国保、介護、地域医療、まちづくり、地域社保協活動など

20、21日地域社保協交流集会に参加、交流しましょう！

根室、釧路、旭川、函館、小樽、室蘭から、労働組合や地方議員からも参加申し込みあります。

交流集会まであと2週間です。当日は、地域主権一括法の影響、国保・差し押え問題の学習も行われます。福祉保育労から「保育分野での一括法の影響やたたかい」についても報告してもらいます。介護保険料値下げ署名に取り組んでいる旭川社保協、国保問題で取り組んでいる根室社保協や国保料引き下げに取り組んでいる小樽社保協、阿寒病院問題で取り組んでいる釧路社保協などにも報告をお願いします。

地域社保協の再建、活性化では、札幌中央区、白石区に続いて、先月末には、西胆振社保協(室蘭)でも活動活性化のための会議も行われています。地域社保協の活性化についても意見交換します。

参加申し込みは、できれば16日(月)までをお願いします。

住民の過半数めざし、市立阿寒病院の存続求める署名開始！

12/27には、1165筆(1次分)提出



12月27日、「市立阿寒病院のこれからを考える会」は、釧路市に対して「市立阿寒病院の存続を求める署名」(1次分1165筆)を提出しました。市長が不在のため、松浦副市長に、民営化の不当性や住民の阿寒病院に対する思いを伝えました。

会では12月15日に行った集会(12月27日ニュースで紹介)で、今月中に、阿寒地域の有権者数の過半数に当たる2300筆をめざして署名に取り組んでいます。

署名用紙のイメージ。表には「氏名」と「住所」の欄があり、下部には「(市立阿寒病院存続を求める署名)」と記載されている。